

教科課程

作業療法士学科

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	
基礎分野	英語と英会話 English Conversation	必修	講義	30	(2)		30					作業療法士に必要な解剖学・運動学、リハビリテーションに関連する英単語、略語、英文解釈について説明できる。
	情報科学 Informatics	"	"	30	(2)	30						作業療法士として必要なコンピュータの基本操作、Word、Excel、PowerPointの基本的操作法を説明できる。
	物理学 Physics	"	"	30	(2)	30						人体の運動の基礎となる物理学的知識（バイオメカニクス）について説明できる。
	倫理学 Ethics	"	"	30	(2)	30						道徳的判断の対象、義務についての意思の自由と責任について説明できる。
	文章表現 Documentation	"	"	30	(2)	30						作業療法士として必要となるレポート作成に関わる基本的な文章表現能力を説明できる。
	国際医療福祉 International Medical Welfare	"	演習	30	(1)				30			諸外国の医療・福祉の現状、技術について学び、将来の作業療法士としてあるべき姿について説明できる。
	コミュニケーション学 Communication	"	講義	30	(2)	30						グループワークを通して、医療人として話す・表現するというコミュニケーション能力が向上できる。
	統計学演習 Statistics	"	演習	30	(1)		30					作業療法研究に必要な統計学的理解を進め、実践できる。
	人間心理学 Human Psychology	"	講義	30	(2)	30						人間の行動に隠されている様々な心の働きを知り、科学的な心理学実験を通して、基礎的な人間の心理を理解できる。
社会福祉学 Social Welfare	"	"	30	(2)		30					作業療法士の福祉的働きかけの基本的視座を身につけることができる。	
専門基礎分野	人間発達学 Human Developmental Science	"	"	30	(2)	30						人間の発達段階での劇的な発達の特徴を、身体面や認知面、社会面等から説明できる。
	解剖生理学 -骨格・関節・筋系 Osteology, Myology, Arthrology	"	"	60	(4)	60						解剖学・生理学的視点から骨格・関節・筋系の理解を進め、人体構造・機能・病態理解と関連付けられるようになる。
	解剖生理学 -神経 Neurology	"	"	60	(4)	30	30					解剖学・生理学的視点から神経系の理解を進め、人体構造・機能・病態理解と関連付けられるようになる。
	解剖生理学 -内部系 Internal Physiology	"	"	90	(6)		90					解剖学・生理学的視点から内部系の理解を進め、人体構造・機能・病態理解と関連付けられるようになる。
	解剖生理学実習 Practice of Anatomical Physiology	"	講義 演習	30	(1)		30					観察・検査・測定の実習を通して、人体構造や生理機能に繋がる生体データ等の評価について説明できるようになる。
	機能解剖学 I Functional Anatomy I	"	"	30	(1)	30						特に骨・関節について学び、骨格・関節・筋系の構造・機能やそれぞれの繋がりを解剖学的・運動学的に理解できる。

作業療法士学科

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達 機能解剖学Ⅱ Functional AnatomyⅡ	必修	講義 演習	30	(1)		30					特に筋について学び、骨格・関節・筋系の構造・機能やそれぞれの繋がりを解剖学的・運動学的に理解できる。
	運動学 Kinematics	〃	〃	30	(2)	30						人体の解剖・生理学的理解を基に、人体の運動器の正常運動特性、特に上肢・手指について理解できる。
	運動学実習Ⅰ KinesiologyⅠ	〃	〃	30	(1)		30					人体の解剖・生理学的理解を基に、人体の運動器の正常運動特性、特に下肢・脊柱・体幹・顔面・頭部について理解できる。
	運動学実習Ⅱ KinesiologyⅡ	〃	〃	30	(1)			30				運動学習や運動のためのエネルギーについて説明できる。また、姿勢分析や運動分析・動作分析を行えるようになる。
	臨床心理学 Clinical Psychology	〃	講義	30	(2)		30					心理の正常と異常の違いを通して、精神的な疾患、心理療法、カウンセリングの方法について説明できるようになる。
	精神医学 Psychiatry	〃	〃	30	(2)			30				行動観察と症状の把握、治療者と患者の心理的關係など多角的側面から精神疾患について理解できる。
	病理学概論 Introduction to Pathology	〃	〃	30	(2)		30					生体に起こる病的障害の原因、成立過程及び結果を正しく把握し、刺激に対する組織的変化、機能的変化を説明できる。
	内科学 Internal Medicine	〃	〃	30	(2)			30				基礎的医学知識を整理し、各臓器・組織系統の疾患や、病因、診断（画像含む）、治療についての概要を説明できる。
	神経内科学 Neurology	〃	〃	30	(2)			30				神経症候学、神経内科、脳神経外科領域でみられる疾患・障害の基礎的知識、診断（画像含む）について説明できる。
	整形外科学 Orthopedics	〃	〃	30	(2)			30				骨・関節・筋・靭帯・末梢神経等、運動器疾患の各病態、診断（画像含む）や治療、予後等の概要を説明できる。
	小児科学 Pediatrics	〃	〃	30	(2)			30				小児の成長・発達と小児によくみられる各種疾患などの基礎的特異性を説明できる。
	薬理学 Pharmacology	〃	〃	30	(2)			30				薬物の特徴、作用機序、人体への影響を知り、医薬品を正しく理解できる。
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	リハビリテーション概論 Introduction to Rehabilitation	〃	〃	30	(2)	30					
リハビリテーション医学 Rehabilitation Medicine		〃	〃	30	(2)		30					リハビリテーションの対象となる主たる疾患を理解し、リハビリテーション介入の基本について説明できるようになる。
チーム医療論 Team Medical Care		〃	講義 演習	30	(1)		30					他職種の特長を学び、リハビリテーションにおけるチームアプローチについて理解できる。

作業療法士学科

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門分野	基礎作業療法学実習 Fundamental Technics of Occupational Therapy	必修	講義 演習	30	(1)	30						作業療法の治療手段としての様々な作業活動を通して、基礎的知識・技術を習得し、治療の応用を身につけることができる。
	基礎作業療法学 Foundation of Occupational Therapy	"	講義	30	(2)	30						学問としての作業治療学成立の歴史的背景や構造などの基礎知識と作業分析や指導法などの基礎技法を説明できる。
	作業療法概論Ⅰ Introduction to Occupational Therapy I	"	"	30	(1)	30						OTの基本的知識・思考力、実践能力及び態度を身につけ、作業療法の対象・目的・手段やプロセスなどを説明できる。
	作業療法概論Ⅱ Introduction to Occupational Therapy II	"	"	30	(1)		30					ICF、OTの理論、医療安全や職業倫理、管理・運営・教育や関連法・制度などについて説明できる。
	作業療法研究法Ⅰ Occupational Therapy Study I	"	"	60	(2)				60			卒業研究に向けて、研究の必要性、研究デザインの考え方を学び、研究計画書を作成できる。
	作業療法研究法Ⅱ Occupational Therapy Study II	"	"	60	(2)					60		研究計画書を基に実験、データの収集、集計、処理及び結果の解釈を経て、論文の作成や発表ができるようになる。
	作業療法管理学 Occupational Therapy Management	"	"	30	(2)					30		作業療法部門の組織体系や部門運営のための組織の在り方について学び医療・福祉・介護領域での役割について理解する。
	作業療法評価学実習Ⅰ Practice of Occupational Therapy Assessment I	"	講義 演習	30	(1)		30					作業療法評価の基本的概念及び主に関節可動域測定を解剖生理学・骨格・関節・筋系の知識と結びつけて理解できる。
	作業療法評価学実習Ⅱ Practice of Occupational Therapy Assessment II	"	"	30	(1)		30					作業療法評価の基本的概念及び主に徒手筋力検査を解剖学・運動学の知識と結びつけて理解できる。
	作業療法評価学実習Ⅲ Practice of Occupational Therapy Assessment III	"	"	30	(1)				30			作業療法評価として、バランス評価、片麻痺機能検査、協調性検査について実施できるようになる。
	作業療法評価学実習Ⅳ Practice of Occupational Therapy Assessment IV	"	"	60	(2)			60				形態測定、感覚検査、反射検査、整形外科的検査、生活行為向上マネジメントを実施できるようになる。
	作業療法評価学 Occupational Therapy Assessment	"	"	30	(1)	30						演習を通じて評価計画立案、統合と解釈、治療計画立案など、作業療法評価の一連の流れを説明できるようになる。
	職業関連技術論 Vocation-related Technics	"	講義	15	(1)				15			代償機能・適応機能等に関する基礎的知識・技術のうち、職業前評価・訓練について説明できる。
	発達障害治療学 Occupational Therapy for Developmental Disorder	"	"	30	(2)				30			発達障害（学習障害、ADHD、自閉症スペクトラム障害、脳性麻痺など）に対する作業療法治療を説明できる。
	高次脳機能障害治療学 Occupational Therapy for Higher-order Neurological Dysfunction	"	"	30	(2)				30			「目に見えない障害」と言われる高次脳機能障害について、その病態や脳機能、その作業療法について説明できる。

作業療法士学科

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時 間 数	単 位 数	1年		2年		3年		講義概要	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専門分野	作業 治療 学	身体障害治療学 I Occupational Therapy for Physical Disability I	必修	講義 演習	30	(2)			30				身体機能障害の治療原理・技術、パーキンソン病の病態や作業療法について、説明できるようになる。
		身体障害治療学 II Occupational Therapy for Physical Disability II	"	"	60	(4)				60			脳血管障害、脊髄損傷、神経・筋疾患、末梢神経損傷、関節リウマチ、骨関節疾患などの作業療法を説明できるようになる。
		精神障害治療学 I Occupational Therapy for Mental Disorder I	"	講義	30	(2)			30				精神疾患における作業療法評価法、治療法の基本的な考え方について説明できるようになる。
		精神障害治療学 II Occupational Therapy for Mental Disorder II	"	"	30	(2)				30			各精神疾患に対する具体的な評価、治療方法について実践的に学び、説明できるようになる。
		老年期障害治療学 Occupational Therapy for Elderly Disabled	"	"	30	(2)				30			老年期の特性を知り、老年期を迎える対象者への作業療法治療について説明できるようになる。
		作業療法技術論 Occupational Therapy Technics	"	"	30	(2)				30			代償機能・適応機能の基礎知識・技術として、義肢装具や環境調整について説明できるようになる。
		日常生活活動学 Activities of Daily Living	"	講義 演習	60	(2)			60				日常生活活動について学び、対象者の日常生活上の問題点や利点から課題を分析できるようになる。
		作業療法総合実習 I Occupational Therapy Comprehensive Practice I	"	実習	30	(1)		30					レクリエーションの治療的活用方法を説明できるようになる。
		作業療法総合実習 II Occupational Therapy Comprehensive Practice II	"	"	30	(1)				30			課外授業・体験実習を通して運動療法について学び、健康増進のための運動処方について説明できるようになる。
		福祉住環境論 I Housing Environment for the Welfare I	"	講義	30	(2)				30			臨床能力を高めるため、福祉住環境コーディネーター2級の認定資格を取得する。福祉用具について説明できる。
		福祉住環境論 II Housing Environment for the Welfare II	"	"	30	(2)				30			対象者の作業遂行環境（福祉用具や住宅改造）を整えるために必要な知識・技術を説明できる。
		作業療法総合演習 I Occupational Therapy Comprehensive Exercise I	"	講義 演習	30	(1)		30					グループ演習を通して、自己理解・他者理解を深め、対象者と作業療法士との適切な関係について説明できるようになる。
		作業療法総合演習 II Occupational Therapy Comprehensive Exercise II	"	"	30	(1)			30				地域で活動・活躍できる作業療法士になるため、初級障がい者スポーツ指導員の認定資格を取得することができる。
		作業療法総合演習 III Occupational Therapy Comprehensive Exercise III	"	"	30	(1)				30			臨床実習に向けて、客観的臨床能力試験（OSCE）を通して、対人技能や検査・測定の臨床能力を身につけることができるようになる。
		作業療法総合演習 IV Occupational Therapy Comprehensive Exercise IV	"	"	30	(1)				30			代償機能・適応機能の基礎知識・技術として、自助具や環境調整、治療道具などについて説明できるようになる。

作業療法士学科

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門分野	地域作業療法学 Community-based Occupational Therapy	必修	講義	30	(2)			30				地域作業療法実践の基盤を築くため、地域における作業療法を説明できるようになる。
	地域医療論 Community-based Medical Care	"	"	30	(2)			30				地域医療の法的理解、地域医療のシステム理解、実践例を通じた地域医療の理解を説明することができる。
	見学実習 Field Trip	"	実習	45	(1)	45						作業療法場面を見学し、対人援助職としての基礎能力及び作業療法の基礎的知識・技術・態度について説明できる。
	臨床実習Ⅰ Clinical PracticeⅠ	"	"	180	(4)				180			実際の現場にて指導者の指導の下、症例を担当し、評価計画立案と評価の実施を行い、治療計画を立案できる。
	臨床実習Ⅱ Clinical PracticeⅡ	"	"	405	(9)					405		実際の現場にて指導者の指導の下、症例を担当し、評価や治療を実施できる。
	臨床実習Ⅲ Clinical PracticeⅢ	"	"	405	(9)						405	実際の現場にて指導者の指導の下、作業療法を総合的かつ実践的に学ぶことができる。
	臨床実習入門 Initiation to Clinical Practice	"	講義 演習	30	(1)			30				臨床実習参加を前に医療従事者のあり方、社会人としてのマナー、臨床での面接・会話について説明できる。
	国家試験演習Ⅰ National Examination ExerciseⅠ	"	"	30		30						国家試験受験に向けて学習方法を確立し、学習習慣を身につけることができる。
	国家試験演習Ⅱ National Examination ExerciseⅡ	"	"	30			30					国家試験受験に向けて、主に専門医学関連について理解を深める。学習方法を確立し、学習習慣を身につけることができる。
	国家試験演習Ⅲ National Examination ExerciseⅢ	"	"	30				30				国家試験受験に向けて、基礎科目と専門科目を結びつけて理解を深める。協同学習など実践的な学習方法を身につけることができる。
	国家試験演習Ⅳ National Examination ExerciseⅣ	"	"	30					30			国家試験受験に向けて、主に問題演習などを通して、基礎科目・専門基礎科目・専門科目を応用できるようになる。
	国家試験演習Ⅴ National Examination ExerciseⅤ	"	"	30						30		これまでの総復習、国家試験の出題傾向と対策結果分析などから、国家試験問題の正答を選択できるようになる。
	国家試験演習Ⅵ National Examination ExerciseⅥ	"	"	90	(3)						90	これまでの総復習、国家試験の出題傾向と対策結果分析などから、国家試験問題の正答を選択できるようになる。
	総時間数				3450	141	585	600	570	675	525	495